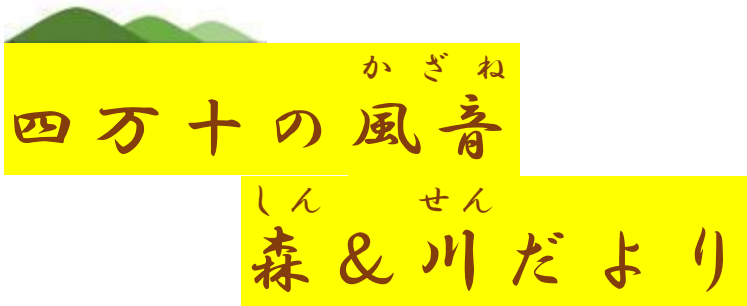




愛媛県松野町の2校で取り組む年間を通し

た森林環境教育

(松野西小学校・松野東小学校)

○概要

当センターでは愛媛県松野町の小学校2校(松野西小学校・松野東小学校)の三・四年生を対象に、年間6回程度の森林環境教育活動を教科書や学習指導要領とのリンクも意識しつつ計画的に実施しています。

1学期は、松野西小学校(児童数16名)では、「校庭の樹木学習」(6月13日)、「森林の働きと水はどこから水のゆくえの学習」(6月20日)、「木工クラフト学習」(6月27日)、「校庭樹木に樹木名板や立て札の設置作業」(7月16日)を実施しました。松野東小学校(児童数10名)では、「校庭の樹木学習」(6月17日)、「空飛ぶ種子学習」(7月1日)を実施しました。

○実施内容

「校庭の樹木学習」は学校の樹木に親しみを持ち、樹木の名前を覚え森林や自然環境への興味・関心を芽生えさせることを目的としています。校庭の樹木を観察しながら、センター職員が名前の由来や特徴、利用方法などを説明しました。後日、各班に分かれて児童達が木製の樹木名板を校庭の樹木に取り付けました。

「森林の働きと水はどこから水のゆくえの学習」では、森林が、雨水を貯えきれ

いな水を育む仕組みや、災害を防ぐ、大気をきれいにするなど私たちの生活に欠かせない大切なものであることを説明すると共に、浄水場と下水処理場の仕組みや地球上の水をできるだけ汚さないように利用することの大切さ、日本の水は豊かな森林があることで世界の中でも大変きれいで安全安心な水であることも説明しました。

「木工クラフト学習」では、最初に「木材の特徴」と題して木材の環境材料としての優れた特性について説明し、その後、木工クラフトの作り方や注意点を説明した上で、センター職員が加工、準備した製作キット（材料は、松野町の目黒山国有林で調達したヤマザクラやヒメシャラの小枝や幹や枝を輪切りにしたもの）を使い、児童達は、センター職員の指導のもとパーツを組立て、ヒノキ板にクロモジなどで梓木を付けたり、小枝や輪切り、木片を重ねて装飾したりして、カブトムシやクワガタムシの壁掛けや置物を完成させました。

「空飛ぶ種子学習」では、いろいろな種子の観察、「アルソミトラ」や「ラワン」の種子模型の製作、「フタバガキ」や「テイカカズラ」、「イタヤカエデ」などの種子の実物を飛ばす体験を通して、その場から動けない植物があらゆる方法で広い範囲に子孫を残そうとする仕組みや、花の蜜や果実に誘われて来る昆虫や鳥たちを利用した種子の移動について知ってもらいました。今後、種子のでき方など季節による樹木の変化や特徴等を観察することで学びを深めてもらいたいと考えています。

○おわりに

1学期の活動に対しては、児童から「スチレンシートで作った種子の模型が本物の種子と形や飛び方もそっくりでびっくりした。」「送風機のスイッチを入れると、

「テイカカズラの綿毛がふわふわと浮いて飛ぶのが楽しかった。」「タラヨウの葉っぱに釘で字が書けるのが不思議だった。」「何年も前の人の樹木の名札が残っていて、木が大切にされていたことがわかりました。」「私も木の名札を取り付けたのが心に残っています。いろいろな取り付け方をしたからです。」などの声をいただきました。

当センターでは教科書や学習指導要領もリンクした森林環境教育を今後も進めていきたいと考えています。



当センターの仕事内容を説明(松野東小)



樹木学習の座学×空飛ぶ種子(松野西小)



樹木学習×フィールドビンゴ(松野西小)



木工クラフト作り①(松野西小)





木工クラフト作り②（松野西小）



校庭の樹木学習(四手)を説明(松野東小)



アルソミトラ種子模型を作ろう(松野東小)



ラワン種子模型を飛ばそう（松野東小）



五感で感じるいろいろな種子（松野東小）



樹木立て札設置の様子（松野西小）





樹木名板取り付けの様子（松野西小）



完成した樹木名板（松野西小）



木工クラフト完成したよ①（松野西小）



木工クラフト完成したよ②（松野西小）



木工クラフト完成したよ③（松野西小）



木工クラフト完成した④（松野西小）





四万十市内8校の夏休み森林・木工教室を 開催

(中村南小学校・東山小学校・蕨岡小学校
・大用小学校・利岡小学校・八束小学校・
下田小学校・具同小学校の放課後児童クラ
ブ、子ども教室児童対象)

○概要

今年度は、「NPO法人スマイルはたっこ」学童保育事務局（四万十市児童館事業委託業者）より要請を受けて、四万十市内小学校8校の夏休み中の放課後児童クラブや子ども教室において、合計11回、合わせて372名を対象に小学校や学童保育施設で実施しました。

○実施内容（別表参照）

その内6校の森林教室では、「^{あまみず}雨水のぼうけん」という教材を使って、森林の保水力や水の浄化作用について勉強し、次に「もくざいのヒミツ」という教材で、木材の柔らかさや香りなどの木材の秘密について楽しみながら学んでもらいました。

残り2校の森林教室では、嶺北森林管理署の若手職員が発案・作成した「高知の自然！大発見すごろく」により森林環境教育の普及啓発を兼ねて実施しました。

お楽しみの木工教室では、当センターが準備した、「便利なスマホスタンド（完成するとスマホやタブレットも載せれるように、軽い木、重たい木などの絶妙なバ

ランスを計算して当センター職員が板や角材を加工して手作りしたものです。）」、使っているキットのパーツは3種類で、下絵は、四万十市のゆるキャラ「アチチウナギのしまッチ」にしました。

なお、「しまッチ」を描いた板はスギ、角材はヒノキ、スマホを載せる板はキリを使っています。

はじめに「しまッチ」の下絵のあるスギ板をポスターカラー等で自由に色ぬりをして、それが出来たら、自由な発想で貝殻、小石、小枝、木片、木の実等の自然素材やビーズ、コルク等を使って装飾してちりばめ、次にキリの板に接着し、最後は、三角形の角材を接着して、各々「便利なスマホスタンド」を完成させました。

接着剤が乾く合間に、「おまけ」として、当センターが準備したキリ板製の生き物等のパーツ、スギやヒノキの端材、ヤマザクラ等の小枝等を使ったキーホルダーやストラップ作り、そのほか置物などの小物作りも自由に楽しんでもらいました。

○おわりに

各放課後児童クラブや各子ども教室の代表児童から「メッチャ楽しかった、ありがとうございました。」とお礼の挨拶がありました。また、学童保育事務局から、「どこの教室、クラブからも皆楽しんでいた。すごく良かった。」と感想があったこと。また、「子どもたちも、お迎えが来ると荷物を持たずに真っ先に作品を見せに走っていました。いい経験、思い出になったと思います。」とお礼のメールがありました。

今回の森林環境教育を通して、子ども達には、森林の大切さを知ってもらい、板や角材の香り、模様、手ざわりの良さなどを通じて木に親しんでもらえたと思います。

また、四万十市の子育て支援の一端にも貢献できたと考えています。

なお、四万十森林管理署から職員派遣の協力をしていただき、各放課後児童クラブや各子ども教室では、道具の搬入・搬出と準備や片付け、児童の対応など大変助かりました。若手職員にとっても、OJTを兼ねるかたちで良い経験になったものと考えます。

令和7年度 夏休み森林・木工教室（四万十市放課後児童クラブ・子ども教室児童対象） 実施計画

R7.7.7

森林水産部四万十森林管理署 四万十市森林ふれあい推進センター

学校名等	児童クラブ・子ども教室名	実施日	実施時間	対象児童数	森林教室（30分程度）	木工教室（90分程度）
中村南小学校	つばめ学級	7月24日	13:00～15:00	82名	雨水のぼうけん、もくざいのヒミツ（紙芝居自動再生版）の上映	夏休み工作、「しまっち。スマホスタンド作り」
		7月25日	13:00～15:00			
具岡小学校	とんぼ学級	8月19日	13:00～15:00	105名	〃	〃
		8月21日	13:00～15:00			
東山小学校	なかよし学級	7月31日	13:00～15:00	94名	〃	〃
		8月22日	13:00～15:00			
下田小学校	はまっこ子ども教室	8月8日	9:30～11:30	24名	〃	〃
巖岡小学校	ひまわり子ども教室	8月4日	9:30～11:30	23名	「高知の自然！ 大発見すごろく」	〃
大用小学校	やまっこ子ども教室	8月5日	10:00～12:00	14名	〃	〃
利岡小学校	わかたけ子ども教室	8月6日	9:30～11:30	10名	雨水のぼうけん、もくざいのヒミツ（紙芝居自動再生版）の上映	〃
八束小学校	アカメ子ども教室	8月7日	9:30～11:30	20名	〃	〃
計	8校	11回	各120分	372名		おまけ付きかも？（〃）……ふたまるか～



夏休み工作「しまっち。スマホスタンド作り」みほん



高知の自然！大発見すごろく①(巖岡小)



高知の自然！大発見すごろく②(巖岡小)



しまっち作りの様子(大用小)



高知の自然！大発見すごろく(大用小)



しまっちの作り方等を説明(東山小)



紙芝居上映、絵本を見る児童(下田小)



ここは、こうしたらいいよ(八束小)



しまっち作りの様子(具同小)





しまっち作りの様子(八束小)



興味津々ペンダント等作り(中村南小)



しまっち作りを指導、こはね(中村南小)



あら可愛い。しまっち作りを指導(東山小)



ペンダントできたよ、いいね。(下田小)



しまっち壁掛けタイプを指導(下田小)





ここ切るよ、いいかい(具同小)



しまッチ作りを指導(東山小)



作品できたよ(八束小)



作品できたよ(具同小)



作品できたよ(東山小)



作品できたよ(下田小)



作品できたよ、みんな凄いね(具同小)



作品できたよ(中村南小)



作品できたよ(中村南小)



作品できたよ(利岡小)

夏休み工作「しまッチ、スマホスタンド作り」各パーツと作り方



※ 袋の中に入っているパーツは3つ。

楽しく作ろうね。

こどもと一緒に「カブトムシ・クワガタム

シの壁掛けや置物と、しまっちなどのスマ

ホスタンド作り

(こうち環境博 2025 イベント)

技術普及課、ふれセンで連携実施

○概要

8月30日、高知市の「文化プラザ かるぽーと」で開催された「こうち環境博2025」に当センターも参加しました。

このイベントの参加にあたっては、「こうち環境博実行委員会」から、当センターが作成指導している天然素材も使った木工小物作りが子供たちに喜んでもらえそうだということで、昨年に続いてお声がけいただき、今年は来場者の増加も予想されたことから四国森林管理局技術普及課職員3名の応援も得て「かんたん木工教室」のブースを出展しました。

○かんたん木工教室

当センターのブースでは、「森林からのおくりもの」をテーマとし、センター職員が国有林で調達したヤマザクラの枝や輪切りなどのパーツをセットにした製作キットで作るカブトムシ・クワガタムシの壁掛けや置物づくりと、ポスターカラーで自由に色塗りし、木工用ボンドで組み立てるスマホスタンドとして、四万十市の「しまっち」、愛媛県の「みきゃん」のそれぞれキャラクター2種類の下絵を描いた板と、その板を斜めに支える角材、スマートフォンを乗せる底板はキリを使ったキット

と併せて約 200 セット準備しました。

全体の時間配分も考慮し先着 30 名としていたためか、開始早々に親子が訪れはじめると、限られたスペース内に配置した 24 席全てがあつという間に埋まり、40 分前後で完成次第席を入れ替えるかたちで対応しながら、最終的には 4 時間で 100 名程度の来場があり、木の実や小枝、小石や貝殻など、山から海のものまで自由に選べる装飾材料も準備していただきましたので、皆さんそれぞれ趣向を凝らしながら、「これかわいくない?」「もう少しこっちにくっつけてみろうか?」、「ここにドングリを置くといいかも?」など、親子で楽しそうに取り組んでいる様子がみられました。

また、ブース内で森林環境教育用に制作した紙芝居（自動再生版 4 種類）を常時流しており、後半はセンサーカメラで記録された鹿の動画集を流したところ、当センターの正面に位置する高知商業ジビエ部の皆さんも興味深そうに見入っていました。

○その他イベント

会場内では、メインステージにおいて小学生によるダンスパフォーマンスが披露されるイベントもあって多くの親子連れで賑わっており、その他のコーナーでも、環境についてのクイズを解きながらゴールを目指す段ボール迷路では入場待ちの長蛇の列ができており、段ボールで組み立てた大きな恐竜の遊具や、木のおもちゃコーナーでも小さな子供達が無邪気に遊んでしました。また、他の出展ブースでも環境問題や、多様な生物に関わるものなどのワークショップや展示物があり、当センター

の隣のブースでは、高知県林業大学校によるVRゴーグルを装着し、チェーンソー型コントローラーを操作しながら伐倒作業を体験できるコーナーがあり、子供や大人も大学スタッフに補助してもらいつつスムーズに伐倒が成功すると拍手や歓声があがっていました。

なお、昨年まで同イベントの会場としていた、こうち男女共同参画センター「ソーレ」においても8月19日から8月28日までの間、「みんなでエコリンピック」というテーマの環境絵日記入賞作品展や、香美市エコクラブが取り組んでいる日頃の活動内容など、「環境にやさしい企業・団体展」も行われたそうです。

○おわりに

参加者からは、「親子で創作できたのが楽しかった。」「カブトムシ、クワガタムシ大好き、家で飼育しています。」「昆虫が木で作れて嬉しかった。」「しまッチのかわいい作品が出来てメッチャ嬉しい。」などの感想をいただき、全体で約1,300人の方々が来場したこのイベントを通じ、森林への理解や木育への取組みを効果的に伝えられた一日となりました。

ちなみに、この活動の様子は、がんばれ高知！！eco応援団（KUTVテレビ高知）にて、9月21日（土）に放送されました。



😊 たまるか〜 ♪♪



出展ブース設定状況①



出展ブース設定状況②



来場者へキット等の事前説明①



来場者へキット等の事前説明②



出展ブースの様子①



出展ブースの様子②



出展ブースの様子③



出展ブースの様子④



出展ブースの様子⑤



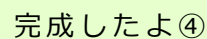
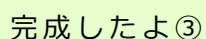
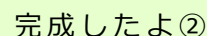
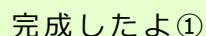
出展ブースの様子⑥



出展ブースの様子⑦



出展ブースの様子⑧

[illegible]

津野町内2校合同森林・木工教室を開催**(葉山小学校、中央小学校)****IN 高知県立幡多青少年の家**

○概要

9月4日に黒潮町上川口の高知県立幡多青少年の家において、津野町の葉山、中央小学校の五年生33名を対象に森林・木工教室を開催しました。

今回は、津野町教育委員会が行う2校合同自然体験型合宿の中で、「ものづくりの楽しさと、木に触れる心地良さを体験し、森の恵みに感謝する心を育てたい。」との依頼を受け実施したものです。

○実施内容

森林教室では、紙芝居教材「森林からの贈り物^{もり}」を使い森林の大切な役割の学習を行いました。

紙芝居のページをめくる中で、「私たちの生活のあらゆる場面で欠かせない木や木材は、家を建てる時の主な材料となっていますが、皆さんの身の回りで木が使われているものはどんなものがありますか？」と質問すると、「ノート、紙、タンブス、家の柱など」と元気に手を挙げて答えてくれました。紙芝居を通して、木や木材は私たちの暮らしを豊かにしてくれる物であると同時に、森林が私たちの生活に無くてはならない色々な物を生み出し、清らかで豊かな水を育み、空気をきれいにしてくれるなど、大切なはたらきをしていることを理解してもらいました。

お楽しみの木工教室、木工クラフト（山・川・海で繋がっている生き物の姿を木工クラフトで創作する壁掛け作り）では、作り方や注意点を説明してから見本を参

考にキリ材やヒノキ材を使った魚や水生動物、昆虫等の各パーツにポスターカラー等で自由に色を塗ったものを、スギやヒノキの板にアレンジを加えて接着剤で貼り付けるなど自由製作としました。貼り付けするパーツは、貝殻、川石、小枝（津野町^{いらすやま}不入山の四万十川源流域の国有林に有るクロモジ、ウツギなどを使用）、木片等の自然素材やビーズ、フェルト等を使って装飾をちりばめ、最後に板にヒートンとカラーヒモやリボンを取り付け、各々が思い思いの個性豊かな作品を完成させました。

○おわりに

児童の代表から「森林^{もり}の大切さがよく分かりました。今後も山・川・海の身近な自然を大切にしていきたいです。いろいろな準備をしていたただきどうもありがとうございました。」とお礼の挨拶がありました。

今回の取組により、森林・林業への理解や興味が湧き身近なものとして児童達に感じ取ってもらえたのではないかと考えます。

今後も教育委員会など教育機関の要請に応え、四万十森林管理署と四万十川森林ふれあい推進センターでは、引き続き人材育成の面からも連携して児童・生徒を対象とした森林環境教育への支援活動を推進していきます。

夏の終わり、もう秋～





紙芝居で児童達と質疑応答の様子



スギかヒノキの板か選択する様子



木工クラフトの作り方や注意点を説明



木工クラフト作りの様子①



木工クラフト作りの様子②



木工クラフト作りの様子③



できたよ①



できたよ②



できたよ③



できたよ④



できたよ⑤



できたよ⑥

ふれセンでは、嶺北森林管理署の若手職員
が制作した「高知の自然！大発見すごろく」
を活用した、森林環境教育の普及にも努め
ています。



「すごろく」を楽しむ児童と園児達



「すごろく盤」の裏面の状況



「すごろく」の木駒（ヤマザクラ）



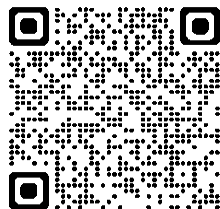
「すごろく盤」は折り畳み収納が可能





これはまた縁起が良いねえ

ふれセン、ホームページ



農林水産省 四国森林管理局

四万十川森林ふれあい推進センター



所在地：〒787-1602 高知県四万十市西土佐西ヶ方 586-2

ダイヤルイン：0880-31-6030

メールアドレス：shikoku_fureai@maff.go.jp